

- 問1 沖縄県などの琉球石灰岩が広く分布する地域では、雨水が地中に浸透しやすく農業用水の確保が大きな課題となってきました。この課題を解決するため、サトウキビ畑などが広がる地層において、水を通しやすい琉球石灰岩の層と、その下にある水を通しにくい泥岩層との間に「止水壁」を設け、地下水の流れをせき止めて貯水する施設を何と呼びますか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 貯水池 2. ため池 3. 湧水地 4. 地下ダム
- 問2 宮崎県では、沖合を流れる黒潮（日本海流）の影響を受けた温暖な気候を利用して、ピーマンなどの野菜栽培が盛んに行われています。このような農業の形態として最も適切な名称はどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 酪農 2. 稲作 3. 近郊農業 4. 園芸農業
- 問3 沖縄県の海岸沿いで見られる、潮の満ち引きがある場所に生育する常緑広葉樹の集まりについて、波の衝撃を和らげる「天然の防波堤」としての役割を果たしている植物群の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. マングローブ 2. サンゴ礁 3. なつめやし 4. バナナ
- 問4 九州地方の中央部に位置する熊本県には、阿蘇くじゅう国立公園に指定されている地域があります。この地域にある阿蘇山に見られる、火山の噴火によって形成された世界最大級の大きなくぼ地を何と呼びますか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. シラス台地 2. 三角州 3. カルデラ 4. 盆地
- 問5 鹿児島県のシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産業が中心となってきた理由を、土地の性質に着目して説明したものととして正しいものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 土地が非常に低く湿っており、大雨のたびに冠水するため、水田を維持することが困難だったから。 2. 土地に含まれる火山性の成分が米の根を枯らしてしまうため、植物の栽培自体が不可能だったから。 3. 標高が非常に高く年間を通じて気温が低いため、米の成長に必要な積算温度が不足していたから。 4. 土壌の粒子が粗く水はけがよすぎるため、稲作に必要な水を地表に蓄えるのが難しかったから。
- 問6 九州南部の地図において広範囲に描かれる、過去の火山活動による噴出物（火山灰など）が厚く積み重なって形成された台地状の地形を何と呼びますか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. シラス台地 2. 扇状地 3. 三角州 4. カルデラ
- 問7 人口の増減を分析する際、特定の地域において出生数が死亡数を上回ることによって生じる人口増加のことを何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 転入超過 2. 人口密度の上昇 3. 自然的増加 4. 社会的増加
- 問8 九州地方の各県の産業を比較した統計資料において、豚の飼育頭数やきゅうりの生産量、製造品出荷額が一定の規模を有し、かつ「地熱発電量」が約823百万kWhと非常に多く、全国的にも上位に位置する県はどこか、名称を答えなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 福岡県 2. 鹿児島県 3. 大分県 4. 宮崎県
- 問9 九州地方の中西部に位置し、東は宮崎県と大分県、北は福岡県、南は鹿児島県に隣接する県があります。この県の南西端に位置する沿岸部の都市で発生した、四大公害病の一つに数えられる公害病の名称と、その舞台となった都道府県名の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 水俣病 ― 熊本県 2. 四日市ぜんそく ― 三重県 3. イタイイタイ病 ― 富山県 4. 新潟水俣病 ― 新潟県
- 問10 九州地方の南端に位置する鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 有明海に面した干拓地を利用して、大規模な海苔の養殖が行われている。 2. 県全体がなだらかな平野で構成されており、日本有数の米どころとなっている。 3. 九州新幹線の全線開通により、宮崎市との間の移動時間が大幅に短縮された。 4. シラス台地での畜産業が盛んで、特に豚の飼育頭数が全国トップクラスである。
- 問11 九州地方の産業構造を分析した際、農業産出額における「畜産」の割合が特に高い県と、地域内で最大の「工業出荷額」を記録している県の名称として適切なものはどれですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県 2. 畜産の割合が高いのが佐賀県、工業出荷額が最大なのが福岡県 3. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが佐賀県 4. 畜産の割合が高いのが福岡県、工業出荷額が最大なのが宮崎県
- 問12 熊本県の農業産出額の内訳を分析したとき、野菜と畜産の産出額がいずれも1,100億円を超えている状況から読み取れる、この地域の農業の強みとしてふさわしい説明を選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 米の産出額が他の品目を圧倒しており、単作地帯としての特色が強い。 2. 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。 3. 農産物の輸出に特化しているため、国内向けの野菜や畜産の生産額は極めて低い。 4. 野菜の産出額は高いものの、畜産や果実の生産は減少傾向にあり、特定の品目への依存が進んでいる。
- 問13 日本の農業産出額の内訳において、ある県では「畜産」の割合が全体の約半分を占めており、米や果実中心の県に比べて圧倒的に高くなっています。このような特色を持つ、南九州に位置する県はどこですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 青森県 2. 鹿児島県 3. 愛媛県 4. 新潟県
- 問14 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. シラス台地 2. 甲府盆地 3. 筑紫平野 4. カルデラ
- 問15 九州地方の南東部に位置し、ピーマンやキュウリなどの生産が盛んな宮崎県では、出荷時期を早める「促成栽培」が行われています。このような工夫を凝らした農業が行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 大消費地である東京や大阪に近いため、輸送コストを抑えて新鮮なうちに届けるため 2. 夏の極端な高温や乾燥による被害を避けるため、収穫を春までに終わらせるため 3. ダムや水路などのかんがい施設を効率的に利用し、一度に大量の野菜を収穫するため 4. 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ供給することで、高い販売価格を得るため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 地下ダム	沖縄県の宮古島などに代表される琉球石灰岩地帯では、地表に降った雨が岩の隙間からすぐに地下へ抜けてしまう性質があります。そこで、地下の不透水層（水を通さない層）である泥岩の上に、コンクリートなどで「止水壁」という壁を建設し、地下水の流れをせき止めることで、サトウキビ栽培などの農業用水を安定的に供給する仕組みが導入されました。地上の土地を有効活用しながら、蒸発による損失を防いで水を貯められる利点があります。
問2	答え 4 園芸農業	宮崎県は太平洋を流れる暖流である黒潮の影響で、冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどの施設を用いて野菜を栽培する園芸農業が発達しました。特に、他の地域よりも出荷時期を早めて高値で販売する「促成栽培」が、平野部を中心に広く行われています。
問3	答え 1 マングローブ	マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の、海水と淡水が混ざり合う汽水域の海岸沿いに発達する植物群落のことです。常に葉をつけている常緑広葉樹であり、その複雑に絡み合った根の構造が、波のエネルギーを吸収・緩和して背後の陸地を守る天然の防波堤として機能しています。
問4	答え 3 カルデラ	阿蘇山は、大規模な噴火によって地表が陥没してできた「カルデラ」を持つことで世界的に知られています。この地形は熊本県の象徴的な景観の一つであり、カルデラの内部には草原が広がり、人々の生活圏や農地も存在しています。
問5	答え 4 土壌の粒子が粗く水はけがよすぎるため、稲作に必要な水を地表に蓄えるのが難しかったから。	シラス台地を覆う火山噴出物は、水が地下へ浸透しやすい（水はけがよい）という性質を持っています。このため、常に水を張っておく必要がある水田稲作には不向きな土地柄でした。その結果、厳しい土地条件でも育つサツマイモの栽培や、広大な台地を利用した畜産業がこの地域の特色ある農業として確立されました。
問6	答え 1 シラス台地	九州南部、特に鹿児島県から宮崎県にかけて広がるこの地形は、大規模な噴火によって噴出された火砕流堆積物などがもとになっています。白っぽい色をしていることからその名がつけました。水はけが非常に良すぎるという特徴があり、大規模な水田開発が難しかった歴史背景があります。
問7	答え 3 自然的増加	出生数と死亡数の差によって生じる人口の変動を自然的増減と呼びます。出生数が死亡数を上回れば「自然的増加」、逆であれば「自然的減少」となります。これに対し、進学・就職などの移動による増減は「社会的増減」と呼ばれ、両者を区別して理解することが重要です。
問8	答え 3 大分県	九州地方は全体として火山が多く地熱資源が豊富ですが、その中でも北東部に位置する大分県は、国内最大級の地熱発電所である八丁原発電所などを有し、地熱発電量が全国トップクラスとなっています。また、統計資料において、鹿児島県や宮崎県ほどではないものの豚の飼育が行われており、農業・工業・エネルギー産業がバランスよく展開されているのが特徴です。
問9	答え 1 水俣病 ― 熊本県	熊本県は九州地方の中西部に位置する県で、その南西部の沿岸に位置する水俣市では、工場排水に含まれるメチル水銀が原因で水俣病が発生しました。これは日本の高度経済成長期に深刻な社会問題となった四大公害病の一つです。新潟水俣病は新潟県の阿賀野川流域、イタイイタイ病は富山県の神通川流域、四日市ぜんそくは三重県四日市市の石油コンビナート周辺で発生しました。
問10	答え 4 シラス台地での畜産業が盛んで、特に豚の飼育頭数が全国トップクラスである。	鹿児島県は九州南部に位置し、火山灰が降り積もってできたシラス台地が広く分布しています。この土地条件を活かして豚やブロイラー（鶏）などの畜産業が非常に盛んで、特に「かごしま黒豚」などは全国的に有名なブランドとなっています。また、九州新幹線の全線開通は博多（福岡県）や新大阪方面との移動時間を大幅に短縮しましたが、宮崎市は新幹線のルートには含まれていません。
問11	答え 1 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県	宮崎県は広大な土地や気候条件を背景に、ブロイラーや豚などの飼育が盛んな「畜産王国」としての側面を持っています。対して福岡県は、北九州工業地帯の歴史的背景や、近年の自動車工場の進出などにより、九州の工業を牽引する立場にあります。選択肢に含まれる佐賀県は、平野部で米の生産が盛んですが、工業出荷額や畜産の割合で宮崎県や福岡県を上回ることはありません。
問12	答え 2 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。	熊本県は、阿蘇の外輪山周辺での畜産や、平野部での野菜栽培など、多様な地形を活かした農業が行われています。統計においても、野菜（1,247億円）と畜産（1,147億円）という、本来は異なる形態の農業が共に出色な数値を記録しており、バランスの取れた産出構造であることが、地域の農業の安定性と強みにつながっています。
問13	答え 2 鹿児島県	鹿児島県は、宮崎県とともに南九州の畜産地帯を形成しています。火山灰が堆積してできたシラス台地は水はけが良すぎたため、伝統的に稲作よりも畑作や畜産が行われてきました。現在では、肉用牛（黒毛和牛）、豚（黒豚）、鶏（ブロイラー）の飼育頭数が全国トップクラスであり、農業産出額の約半分を畜産が占めるという際立った特色を持っています。
問14	答え 1 シラス台地	九州地方南部には、過去の火山活動に由来する火砕流堆積物が広範囲に分布しています。この白っぽい砂状の土壌からなる台地は、水はけが非常に良く水持ちが悪いため、かつては稲作に不向きな土地とされてきました。そのため、現在でもサツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産が盛んな地域となっています。
問15	答え 4 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ供給することで、高い販売価格を得るため	多くの産地から野菜が出回る時期は市場価格が下がりますが、促成栽培によって品薄な時期に出荷できれば、有利な価格で取引されます。これは地域の農業をブランド化し、農家の収益を安定させるための重要な戦略となっています。